

ふれあい月間

10月28日、車いすバスケットボール元日本代表 三宅克己選手が学校にいらして、5年生に授業をしてくださいました。三宅選手はパラリンピックに3回も出場経験がある選手で、授業の最後にとっても印象的なお話をされていたので紹介します。

「人間は、多くの可能性がある。障害のある人でも、多くの可能性があるのです。時には悔しくて泣いたりへこんだりするけど、努力することによって様々な可能性が発揮されるのです。」このようなお話をされていました。

さて、皆さんも悔しかったり、へこんだり、悩んだりすることもあるかと思います。でも、それを克服すると、必ずいい時や、うれしいこと、楽しいことがやってくるものです。

私は、代々木山谷小学校の子供たちは、嫌なことや困ったことを克服して、うれしいことや楽しいことを呼び込む大人に成長してほしいなと願っています。それは、お友達との関係や家族との関係でも同じです。

ここに、文部科学省から出ている文書があります。読んでみますね。

もし、困ったことや、嫌なことがあった時には、家族や先生、学校のスクールカウンセラー、友達、だれでもよいので、悩みを話してみてください。

どうしても周りの人に相談しづらい時には、電話やメールなどを使って、相談窓口に遠慮なくあなたの悩みを聞かせてください。

また、あなたの周りに元気がない友達がいたら、ぜひ積極的に声をかけてあげてください。あなたの声掛けで、友達が元気になるかもしれません。

これは、コロナ架でみんなが落ち込んでいるときに、全国の子供たちに文部大臣が発した言葉です。覚えておいてください。また、皆さんのタブレットに虹色のハートマークのアイコンができました。これも、参考にしてみてください。

11月は、「ふれあい月間」です。自分を見つめ直したり、友達に声をかけたり、担任の先生と話をしたりする機会をつくってください。きっと、解決のヒントがあると思います。